

清流



平成31年 2月22日 文責 石丸 慎也

友だちを笑顔にする ～ “思いやり算”



本校では低・中・高学年に分かれて人権集会を開いています。そこでは教師が子ども達の人権意識を高めるための話をします。先日、私から高学年の子ども達を前にして話をする機会が与えられました。そのときに話した内容をお伝えしたいと思います。

友だちを笑顔にするための“思いやり算”というものがあります。

＋は、

－は、

×は、

÷は、

の中に入る言葉を出し合い、その言葉のもつ意味についてみんなで考えました。子ども達は一つ一つの式が表す意味について具体的な場面を思い浮かべながら理解しようとしていました。

友だちがいるから楽しく勉強できるのです。友だちがいるから学校へ通うことが嬉しいのです。友だちがいるから笑顔になれるのです。

生活をふり返る ～ 児童集会から

先日の児童集会で運営委員会の子ども達（10名）から「ろう下歩行」についてのお知らせがありました。

ろう下歩行については、私たち大人にとっても子どもの頃の課題であったことを覚えています。

運営委員会の子ども達の提案で、去年の2学期から「走るとあぶないよ」などの言葉を貼った色水入りのペットボトルをろう下に置き、正しいろう下の歩き方を意識するよう促してきました。その甲斐があり、友だちとぶつかってけがをするなどの事故はありませんでした。



ろう下のペットボトル

集会後の感想交流では、「右側を歩き、走らないようにしたい」「ペットボトルに足をぶつけないようにしたい」などの声があがっていました。今ではもうペットボトルはろう下から回収されていますが、今後も身につけた安全意識を持ち続けてほしいものです。運営委員会の皆さん、ありがとうございました。

「川上小学校は できてから何年たつのですか？」

「校長先生，川上小学校はできてから何年たつのですか？」先日，子ども達から質問を受けました。そのときは資料をもとにすぐに答えましたが，その後詳しく調べてみました。校長室に残る『大和町史』に次のような記述（抜粋）があります。

- 明治 5 年 学制頒布…国民全部が学校に行って勉強するようにしようという法令が出される。
- 明治 8 年 川上村，東山田村，池上村，久留間の4村にそれぞれ小学校が作られ，8歳から12歳の子が読み・書き・そろばんの3教科を学ぶ。
- 明治 15 年 川上村と東山田村の2小学校が合併して「河崎小学校」に，また池上村と久留間村の2小学校が合併して「池久小学校」となる。
- 明治 19 年 小学校令公布…小学校が，尋常科（7～10歳）と高等科（11～13歳）の2種となり，尋常科が義務教育となる。
- 明治 23 年 川上，春日，高木瀬，金立，久保泉，松梅の6村で「組合立春日高等小学校」が設置された。河崎・池久両小学校高等科の子ども達は春日高等小学校に移り，尋常科だけが残る。この高等小学校は義務教育ではなかったので，ここに進学する人は大変少なかった。
- 明治 24 年 河崎・池久両小学校が合併し，現在の川上小学校のある場所に「川上尋常小学校」ができる。
- 明治 40 年 小学校令改正…義務教育が4年間から6年間へ延長される。同時に高等科の3年間は2年間となる。
- 昭和 16 年 川上尋常小学校の名が「川上村国民学校」と改められる。
- 昭和 22 年 学校制度が六三三制（小学校6年，中学校3年，高等学校3年）となり，中学校までが義務教育となる。川上国民学校は「川上村立川上小学校」と改名される。
- 昭和 30 年 川上，春日，松梅の3村が合併して「大和村」となり，学校は「大和村立川上小学校」となる。この年，川上中学校と春日中学校が合併して「大和中学校」となり，「松梅中学校」は独立する。
- 昭和 34 年 「大和村」が「大和町」となり，学校も「大和町立川上小学校」と改称される。
- 平成 17 年 市町村合併により「佐賀市立川上小学校」となる。



校長室から

毎朝，通学路に立ち，子ども達の安全を見守り終えた地域の方々が，帰宅途中，元気に遊ぶ子ども達の朝の様子を運動場のフェンス越しに眺められていた。何を思っておられるのだろう。知っている子を探しておられるのだろうか。あるいは元気に遊ぶ子ども達の姿を見て喜んでおられるのだろうか。子ども達はいつも地域の方々の温かいまなざしに包まれている。